

知事と区市町村長との意見交換会(北区)

令和2年10月19日(月)
14時30分～14時50分

○**行政部長** それでは、意見交換を始めさせていただきます。初めに、知事からお願いいたします。

○**知事** ご無沙汰しております。今日は都庁へお越しいただきました。もうコロナ、コロナで、ずっとこれまで現場でも大変ご苦労されてこられたかと存じます。今、ウィズコロナのどういう社会をつくっていくかが問われている中で、今日は現場の声、そしてまた、これから新しい日常、サステナブル・リカバリーをベースに長期戦略を描くという段階でございますので、北区区長のご意見、また区民の声をお聞かせいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○**行政部長** それでは、花川区長、ご発言をお願いいたします。

○**北区長** 本年も意見交換の場をいただきまして、お礼申し上げます。本日は、冒頭、新型コロナに関する取組等の課題に触れさせていただいた後に、北区から大きく2点、地域における課題について申し上げさせていただきます。

北区でもこの間、新型コロナウイルス感染症対策に力を入れており、医療機関への支援をはじめ、緊急資金の融資あっせんなど地域経済への支援なども行う一方、公共施設を管理する指定管理者に対する支援なども行っています。現時点では経済活動の支援と感染拡大防止、双方の側面から取組を行っておりますが、今後の感染拡大対応策として自宅療養者の増加が想定され、夜間、休日の容態急変時には保健所の大きな負担となります。東京都には引き続きご支援をいただきますようお願いいたします。

さて、ここからは地域の課題について申し上げます。1点目は、東京北区から日本を導いた渋沢栄一のPRについてです。来春放映開始の大河ドラマの主人公、そして2024年発行の新紙幣の肖像に採用される渋沢栄一は、北区の飛鳥山に居を構え、91歳で生涯を閉じるまでの30年を過ごしました。その北区飛鳥山において、渋沢翁は教育・文化、福祉事業への支援のほか、関東大震災の際には東京の復興に尽力するなど、公益を第一に考えて行動し、日本を新しい時代へと導きました。その渋沢翁の精神をベースに、昨年より東京北区渋沢栄一プロジェクトを立ち上げ、観光や教育など、様々な分野で渋沢翁に関連するシティプロモーションを官民連携で展開しています。

その中で、来春のドラマ放映に合わせて、23区初の大河ドラマ館を北区飛鳥山博物館内に期限限定で設置することとしています。渋沢翁の精神を多くの方に知ってもらうとともに、コロナ禍で経済が冷え込む中、都内近県から北区、ひいては東京への来訪者が増加することで経済活動が活性化するように、コロナに配慮しながら準備を進めています。

つきましては、東京都の広報紙などの各種広報媒体や、都電や都バスなどの交通機関等を通じて、大河ドラマ館と飛鳥山への誘客に向けた積極的なPRや連携にご協力をお願いい

たしたいと存じます。

2点目は、大きく、コロナ禍における教育環境についてです。本年4月に閣議決定された新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、GIGAスクール構想の加速を掲げられ、今年度内における児童生徒1人1台の端末配備や通信環境の整備が急務となっています。北区においては、コロナ禍の中、子供たちの教育環境に配慮し、学校の端末を貸し出すとともに、各家庭が所有している端末を活用しながら一家に1台の学習環境の整備をしてきました。現在、今年度内の1人1台端末の実現に向けて、取組を加速させている一方で、構想の実現に当たっては、国庫補助の過小交付に伴う財政負担の対応に苦慮しています。導入経費のほか機器等の更新に関する費用なども補助の対象とするとともに、端末の新規整備に係る補助単価の増額や継続的に必要となる通信費に対する支援につきまして、国とともにご支援くださるようお願いいたします。

また、少人数学級の推進についても、学習面における環境充実にとどまらず、コロナ禍における感染予防の面からも有効であると考えておりますが、北区においては児童生徒数が今後も引き続き増加することが見込まれています。現状の学級編制においても普通教室の確保は大きな課題となっており、教室増のための施設の整備や学校用地の確保に関する問題も、都市部では共通の課題だと考えております。文科省においても、少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備として、予算編成過程において検討を進めるとの報道もなされております。少人数編制を可能とする教員の確保とともに、施設整備の支援につきましてもご支援くださるようお願いいたします。

来月20日から3日間、北区内の各所にて東京都・北区総合防災訓練が行われます。どうぞよろしくお願いいたします。知事さんとは、またそのときお会いできます。よろしくお願いいたします。

○行政部長 よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。それでは、知事からお願いいたします。

○知事 来春の大河ドラマも大変楽しみです。いろいろな会社から、いろいろな東京都に関連する事業から、創設者、創業者、どれを取っても渋沢栄一、渋沢栄一といって、東京商工会議所もそうですし、本当にすごい人だということと、その発想力とか、それからそろばんと、それと道徳と、バランスといい、本当に尊敬する先人だと思つづくところです。それだけに、広報東京都とかGo Tokyoという広報のツールが東京都にございますので、これらの広報活動も通じて、都民の皆さんに、また北区民の皆さんにもお伝えできるよう、東京の魅力の発信の極めて分かりやすい、そしてまたみんな共感する、そのようなPRに努めていきたいと思っております。

また、今月末は食のイベントが開かれるということを知っております。渋沢庭園のほうで行われるということで、こちらのほうも東京都は支援をしておりますので、楽しみにしたいと思いますと思っております。

それから、さくらトラム沿線地域についても、これまでも北区を含めまして、沿線の自治体の方々と連携して進めておりますので、いろんな観点からの情報発信ということにつ

いては常に行ってまいりたいと思いますし、私自身、本当に渋沢栄一翁から学ぶことがあまりにも多くて、そして今、明治維新のお話、出ましたけれど、やはりこういう実業家と、それから後藤新平を私よく取り上げさせていただきますけれど、そういう先人たちの努力があって今日の東京があると、日本があるとつくづく感じておりますので、お力を込めてPRしたいと思います。

それから、同じように、人をつくるのは、やはり教育であります。2番目にご指摘ありました教育の関係で、世の中かなり変わってきて、今回もコロナ禍においてオンライン教育ってというのが、これまでも進めてきたわけですが、一気に加速させねばならない状況にもなったということで。これまでも教育のICT化の推進ということで、TOKYO スマート・スクール・プロジェクトという施策がございますが、それを一気に加速させるということで、通信環境の整備、それからICT環境整備に対して財政支援を行っているところです。

それから、ハードだけではなくて、学習支援ソフトも含めて端末の補助単価の増額であったり、それから保守管理経費などについても、国に対して十分な財政支援を行うようにということを要望しております。これらはともに声を上げていきたいと思っております。

それから、1人1台端末の活用、いよいよ本格化されるわけでございますので、学校におけるICT活用の充実へ向けた支援を行っていくということです。

教育の現場の皆さんも大変だったと思っておりますけれども、オンラインでも学び、そして普通に学校でも学びという両方の体制を整えていくことも必要だというふうに考えております。

もう一つ、少人数のほうは多羅尾副知事のほうから。

○副知事 それでは、少人数学級の推進につきましては私からお答えさせていただきます。

新たな日常における新しい学びの在り方については、お話のように、指導体制といったソフトの面と施設整備といったハードの面、両面があると認識しております。現在、国の教育再生実行会議などにおいて様々な議論がなされておりますので、引き続き国の動きを注視してまいりますとともに、都といたしましても、今までは教員の加配措置などを講じるなどをしてまいりましたけれども、さらに区市町村立学校のきめ細かな指導の充実のためにご支援をしてまいりたいというふうに思っております。どうぞよろしく願いいたします。

○行政部長 それでは、今のお話を受けて、区長、いかがでしょうか。

○北区長 重ねてのお願いでありますけれども、この渋沢翁の精神は、コロナ後の社会の在り方や考え方の指針となるものと思っておりますので、コロナや災害対策など厳しい課題が多い中、区民や都民が未来に希望を持てる、明るい話題の一つになると考えていますので、緑豊かな飛鳥山公園とともに北区の魅力として、東京観光の目玉として、ご支援をこれからもいただきたいと存じます。

また、教育の面では、これから社会を担っていく子供たちの教育の重要性はますます増えています。コロナ禍の中で、子供たちは思うような学習ができませんでした。全ての子供たちがしっかりと教育の機会を持てるように環境を整備することが我々の使命と考

えていますので、ぜひGIGAスクールを継続し、よりよい環境を整えていくためにも、ご支援を重ねてお願いをいたしたいと存じます。

コロナでも、また保健所や医療機関はその礎となるものと考えていますので、東京都としても引き続き環境の整備や医療機関に対する経営支援などをお願いいたしたいと存じます。また、今後設置を予定している受診・相談センターの情報を区や関係機関にご提供いただき、連携の強化をお願いいたしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは、最後に知事からお願いいたします。

○知事 今日は大変、現場のお声、聞かせていただきありがとうございます。ご意見、ご要望を踏まえまして、未来の東京を切り開くための長期戦略の策定、そしてまた来年度の予算案、予算編成に当たりまして、今日のお話など、検討に取り組んでまいりたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○行政部長 それでは、以上で終了いたします。本日はどうもありがとうございました。